授業宅配便（2019 年度版）

高大連携プログラム

授業宅配便　大学見学会

講習会や研修会への講師派遣

SSH・SGH・SPH連携

【工学部】

機械分野　電気電子分野

システム情報分野　建築・土木分野

【看護学部】

看護学科

足利大学　教育連携センター

あ　い　さ　つ

教育連携センター長　　宮澤　伸吾

（工学部 創生工学科　教授）

足利大学教育連携センターでは、地域の教育の発展に貢献するために、高校や中学の皆様とともに様々な教育連携活動を行っております。その中心的な活動として、様々な分野の「授業宅配便」および「大学見学会」を提供させていただいております。

「授業宅配便」は、本学の工学部および看護学部の教員が、高校・中学を訪問して授業を行なうものです。これまで多くの皆様からリクエストをいただき、平成 30 年度は 31 校延べ 43 回、約 2,832 名の生徒の皆様に授業をお届けすることができました。この「授業宅配便」には、自然エネルギー、機械、電気、システム情報、建築・土木等の工学のほぼ全ての分野に関するメニューが用意されています。また、看護、健康、福祉等の分野のメニューも用意されています。大学で学ぶ専門知識や最新技術について、生徒の皆様が興味を持てるよう、身近な話題と結び付けるなど、出来るだけ分かり易く授業を行います。工学や看護の分野がどのように人々の生活に役に立っているのかを感じ取っていただければ幸いです。

「大学見学会」では、生徒の皆様に本学キャンパスにお越しいただき、最先端の教育・研究施設および実験・実習設備を見学いただくとともに、教室での模擬授業も体験いただくことができます。本学の学生達が学習・研究に楽しく取り組んでいる様子も、是非ご覧いただきたいと思います。平成 30 年度は 32 校延べ 38 回、約 2,113 名の生徒の皆様に本学を訪問していただきました。

是非とも足利大学の「授業宅配便」、「大学見学会」をご利用いただけるよう、心よりお待ちしております。

１　授業宅配便

授業宅配便とは、皆様の高校に、本学の教員が出向き授業を行うものです。

本学は工学部と看護学部がある大学ですが、普通高校の文系コースや女子高校生向けのテーマも用意してあります。幅広いニーズに適切に対応できるようプログラムが整えられていますので、この冊子を参考にしていただき、是非ご利用いただければ幸いです。

先端の技術やより深い知識を知ることのおもしろさや驚きと共に、その素晴らしさを実感していただき、高校生の皆さんの夢がふくらみ、将来に向けた目標設定の参考となり、日々の学習活動がより一層活発になることを願っています。

２ 大学見学

本学には、他大学にはないユニークな施設・設備があります。「風と光の広場」とそれに併設する風車やソーラークッカー博物館は、年間を通して多くの皆さんが見学しています。

工学部の機械分野や電気電子分野では、ものつくりのおもしろさや最先端の研究にふれることができます。システム情報分野ではバーチャルリアリティやロボットの世界を体験することができます。建築・土木分野ではまちづくりや耐震研究などの様子をわかりやすく知ることができます。

看護学部では、看護の施設を見学したり、赤ちゃんのモデル人形を用いての母性看護学の体験や血圧計・聴診器などを用いた基礎看護学の体験などをすることができます。

３ 講習会や研修会への講師派遣

各研究団体の研究会での講演、創立記念講演、ＰＴＡ総会講演、全校生徒対象講演をはじめ各種の講演会へ講師を派遣しています。

最近では、教員対象の研修会、生徒対象の技術講習会等の要望が多くなっています。

４ ＳＳＨ、SGH、SPH への支援

Super Science High school、Super Global High school、Super Professional High school 実践校と連携し、積極的に活動への支援を行っています。その結果、高校の研究や実施テーマの拡大が可能となり、高いレベルでの研究や多くの成果が期待できます。

【授業詳細の見方】

授業詳細は、足利大学教育連携センターホームページに掲載しております。下記アドレスから、授業宅配便案内をクリックしてください。

http://www.ashitech.ac.jp/hucc/

【申し込み方法】

１ 申し込みは、教育連携センターがお受けします。

２ 授業宅配便、大学見学や講習会等への講師派遣の別をお知らせ下さい。

３ 授業宅配便は原則５０分を一単位としています。実施時間が異なる場合はその旨お知らせ下さい。

４ 申し込み方法は、電話か専用申込書に必要事項を記入の上ＦＡＸで申し込み下さい。申込ＦＡＸ用紙をコピーしてお使い下さい。

５ 申し込みいただきました後、教育連携センターから連絡いたします。

足利大学 教育連携センター
〒326-8558
栃木県足利市大前町268-1

電 話 ０２８４－２２－５６２２（直）
ＦＡＸ ０２８４－６２－９１２２
e-mail hucc@ashitech.ac.jp

目　　次

工学部　創生工学科

機械分野

コース名	テーマ名	担当教員
機械工学	形状記憶合金カーを走らせよう！！	小林 重昭
	不思議な液体を利用してパソコンの頭脳（CPU）を冷やすシステムの開発	櫻井 康雄
	水素を貯める金属：水素吸蔵合金	松下 政裕
自然エネルギー	熱プラズマによる新素材創製	安藤 康高
	ソーラークッカー	中條 祐一
	適正技術入門とSDGs（持続可能な開発）	根本 泰行
	再生可能エネルギーの利用技術	出井　努
	振動水柱型波力発電と波力発電用ウェルズタービン	飯野 光政

電気電子分野

コース名	テーマ名	担当教員
電気電子工学	夢の内容を見る方法	辻　陽一
	電磁界を用いたワイヤレス給電の原理とその応用	土井 達也
	圧電セラミックスとその応用	土信田　豊
	磁石なんでも講座	横山 和哉
	電気・電子機器の主要部品の仕組みと小型・省エネ化	西　剛伺
	各種雷雲センサーの開発に必要な「ものづくり」技術の紹介	山下 幸三

システム情報分野

コ　ー　ス　名	テ　ー　マ　名	担 当 教 員
情報デザイン	社会に役立つシステムづくり	川中子敬至
	がん治療と情報技術	木村 彰徳
	ロボットを体験しよう	久芳 頼正
	「察するコンピュータ」を目指して	平石 広典
	小惑星探査機はやぶさ２による小惑星リュウグウの科学観測	荒井武彦
	遺伝的アルゴリズムの工学的応用	田口 雄章
人 間 工 学	「眠っている間に勉強ができる！？」ー睡眠学習のうそとまこと	萬代　宰
	フィードバック：皆さんを本当に動かしているものは何か？	萬代　宰
	「待ち人はどうしてなかなか来ないのか？」：時間の心理学への招待	萬代　宰
	人間工学に基づく、快適な睡眠環境づくり	荒川 一成

建築・土木分野

コ　ー　ス　名	テ　ー　マ　名	担 当 教 員
建 築 学	エコリフォームの「ビフォーアフター」　～省エネ、健康な住宅の設計法～	齋藤 宏昭
	地震に強い構造物とは？	仁田 佳宏
	建設分野のロボット　ーロボットを動かしてみようー	仁田 佳宏
	省エネで快適な生活のためのひと工夫 ー暑くない・寒くない住宅のつくり方ー	室　恵子
	近代以降の日本の住まい	渡邉 美樹
	建物の“ゆれ”を見てみよう	刑部　徹
	空間が人間へ与える影響とは？	藤谷 英孝
土 木 工 学	水のちから。人の知恵。	長尾 昌朋
	身近にある砂と粘土の実験	西村 友良
	安全・安心・快適な生活を支えるコンクリートの技術	宮澤 伸吾
	地域資源を活用したまちづくり	福島 二朗
	道路の整備効果、舗装の最新技術まで	藤島 博英
	コンクリートとは(歴史・技術進歩、さまざまなコンクリートの開発)	松村 仁夫

看護学部

看護学科

領　域　名	テ　ー　マ　名	担当教員
成人看護学	「血圧」を測って、健康長寿	山門　　實 青山みどり 佐藤　栄子 川久保和子
基礎看護学	看護師の仕事に少し触れてみよう？　～自分の体から観る～	川島 美佐子 斉藤 利恵子 石井　　千晴
老年看護学	現在作成中	尾島喜代美
精神看護学	アサーショントレーニング	富山 美佳子
小児看護学	子どもの成長・発達について知ろう！	栗田　佳江
	ひろげてみよう！みんなのキャリアデザイン♪	荻原　弘幸
母性看護学	命を育む看護	杉原喜代美
	現在作成中	島田　葉子
在宅看護学	現在作成中	中村　史江
公衆衛生看護学	看護専門職「保健師」の仕事とは？	沼田　加代 横山　文子

共通教育センター・教職課程センター

共通教育センター

系　名	テ　ー　マ　名	担当教員
人文・社会科学系	使える英語を身につけよう	飛田　ルミ
	スポーツ・コンディション	吉田　弘法
	インターネットで英語はどこまで学べる？	清水　　尚
	「論理的な文章」とはなにか	茂木謙之介
自 然 科 学 系	体験しよう！氷点下の世界：極低温における物質の状態変化	高橋　大輔
	勉強ってしなきゃダメですか？⇒しなくてもいいと思うけど……！！	橋本　　哲
	花火から自動車用エアバッグ、宇宙ロケットまでのエネルギー物質の応用技術	丁　大玉

教職課程センター

テ　ー　マ　名	担当教員
（工学部）工業高校の先生になるには　（看護学部）保健室の先生になるには	池守　　滋
（看護学部）保健室の先生になるには	豊島　幸子

授業宅配便・大学見学　申込 FAX 用紙

学　校　名	立　　高等学校	
対 象 生 徒	科・コース　　年　　人	
担　当　者	担当者氏名	
	電 話 番 号	
	e - mail	
依 頼 区 別	該当するところに〇で囲んでください 授業宅配便　　大学見学　　その他	
実施希望日	授 業 宅 配 便	月　　日（　　） 時　　分　～　　時　　分
	大 学 見 学	月　　日（　　） 到着　　時　　分 出発　　時　　分
通　信　欄		

送付先　ＦＡＸ０２８４－６２－９１２２　　足利大学教育連携センター
この用紙のみ送付ください